

＜2004年2月25日プレスリリース＞

<http://www.nias.affrc.go.jp/pressrelease/2004/20040225.html>

**カイコゲノム概要塩基配列の解読に成功
－昆虫新産業創出の基盤完成－**

＜当該研究成果のポイント＞

約5億塩基対からなるカイコ（p50T系統）の全ゲノムの塩基配列解読を全ゲノムショットガン方式で行い、80％に相当する塩基配列を解読しました。この方式で得られたカイコゲノムの約3倍量に相当する塩基配列データを東京大学大学院新領域科学研究科が独自に開発したプログラム（RAMENアセンブラー）を用いて繋ぎ合わせました。この結果は、2月29日に発行された専門誌「DNA Research」11巻1号（かずさDNA研究所刊）に掲載されました。
本研究成果は、平成14年度補正予算により実施され得られたものです。

＜期待される効果・今後の展開など＞

全ゲノムショットガン方式で得られたカイコゲノム情報は、（独）農業生物資源研究所のDNAバンクホームページで公開され、国内外のすべての研究者が利用できる体制を整えました。これによりゲノム創農薬など昆虫産業の創出研究の飛躍が期待されます。

（独）農業生物資源研究所は、我が国と同様にカイコゲノムの解読を独自に進めている中国をはじめとする研究者と情報交換を図り、カイコゲノムの更に充実した解読や遺伝子の機能解析に関する国際共同研究において主導的役割を担うこととしています。

＜研究所名＞（独）農業生物資源研究所

＜担当者名＞ 農業生物資源研究所 ゲノム研究グループ長 佐々木卓治

農業生物資源研究所 昆虫ゲノム研究チーム長 三田和英

＜連絡先＞ 農業生物資源研究所 企画調整部 情報広報課 下川幸一

電話 029-838-7004